



若き心

集まるどころ 10月 (No6)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 山口 茂

令和5年10月2日

9月2日にコミュニティセミナーと防災学習会が行われました。

午前中に行われたコミュニティセミナーでは、地域の講師の方にご来校いただき、18の講座で日頃学校では学べないようなことを教えていただきました。

香川公民館で行われた「茶道講座」では生徒が和室できちんと座って茶道の心得を教えていただいていた。鶴が台中学校のお教室では、写真やマジック、お料理などバラエティ豊かな講座が開設されていて、授業とはちょっと違った生徒の表情を見ることができました。

講師としてご来校いただいた地域の皆様、大変ありがとうございました。

【生徒の感想から】

- ・同じように教わっているけれど、みんな形が全然違って手作り感があつた。(陶芸)
- ・自分たちでちょっとした劇を作るところとか、講師の方々が時々実演してくださる劇とかがとても面白かつた。(人形劇)
- ・ひとつひとつのお花では全然きれいに見えなかつたけど、数を増やしていくにつれてどんどんきれいになっていったこと。(フラワーアレンジメント)
- ・たくさん体を動かすことができた。“なにわ男子”や“Snow man”の曲で良かつた。

(リズムダンス)

午後には自治会長さんや自治会の防災リーダーの方たちにご来校いただき、防災学習会を開催いたしました。体育館での全体会では茅ヶ崎市の防災対策課の方から、大地震に備えて日頃から気をつけることや大震災が起こった後の避難所で中学生にもできるお手伝いなどについてお話いただきました。その後、自治会ごとに分かれて、自治会長さんなどからそれぞれの地域の状況などについてお話いただき、最後はそれぞれの地区の避難所や防災倉庫を見学させていただいて解散になりました。

生徒の感想にもありましたが、防災は“地域だけ”でも“学校だけ”でもダメなんだと強く思いました。今回の防災学習会をきっかけに、ご家庭でも防災について話し合ってみてください。

【生徒の感想から】

- ・日頃から地域の人に挨拶をして関係を作っておくと、いざというときに役に立つ。
- ・防災対策は地域の人たち全員で協力してやるのが大切なのだと思った。
- ・地域の防災訓練は自分たちより上の年齢の人に任せるのではなくて、若い自分たちも出た方がいいなと思いました。
- ・自分が住んでいる地域は若い人が少ないから、中学生が避難などに協力しないといけないという事がわかつた。
- ・もっと家族と防災のことを話したほうがいいなということを防災学習で学べたなと思いました。

秋の行事の紹介

【茅ヶ崎寒川地区音楽会】

10月14日（土）に茅ヶ崎市民文化会館大ホールにおいて第73回茅ヶ崎寒川地区音楽会が行われます。本校からは吹奏楽部が参加します。演奏する曲目は「ディープ・パープル・メドレー」と「銀河鉄道999」です。

なお、地区音を参観するためには、チケットが必要です。詳しくは吹奏楽部顧問の横川先生までお問い合わせください。

【茅ヶ崎寒川地区英語弁論大会】

10月21日（土）に茅ヶ崎市民文化会館小ホールで第38回茅ヶ崎寒川地区英語弁論大会が行われます。鶴が台中学校からは3年生が1名参加します。スピーチのタイトルは「OCD」です。

これからの世の中はグローバル化が進み、自分の意見や思いを英語で伝えることができるスキルはとても大切になってきます。代表の生徒がどのようなスピーチをしてくれるのか、今から楽しみです。

部活動の大会結果

【女子バレーボール部】

9月23日（土）に寒川東中学校で寒川カップが行われました。

1回戦はシードで2回戦に開成町の文命中と対戦しました。文命中のサーブを拾いきれずセットカウント0-2で負けてしまいました。15日の新人戦に向けて、練習頑張ってください。

【女子ソフトテニス部】

9月24日（日）に松浪中学校で茅ヶ崎・寒川地区秋季ソフトテニス大会の個人戦が行われました。1年生のペアが優勝、2年生の1ペアがベスト4になりました。また、2年生の別なペアもベスト16に入り、3ペアが湘南ブロック大会に出場します。

【卓球部】

9月24日（日）に茅ヶ崎市中学校卓球大会の個人戦が行われました。

男子は第一中学校会場でした。結果は1年の選手が6位、2年生の選手が7位と16位となり湘南ブロック大会に出場します。

女子は寒川東中学校会場で行われました。2年生が1名ベスト32に入り、湘南ブロック大会に出場します。

【サッカー部】

9月10日に「伊澤杯」が行われました。赤羽根中と対戦し1-6で敗れてしまいましたが、果敢なプレーに対して敢闘賞をいただくことができました。個人では、3年生の選手が優秀選手に選ばれました。

お願い

先日、お便りでお知らせしました通り、令和6年度から、副教材等の諸費の引き落とし方法が変更になります。これまでは「湘南信用金庫」からの引き落としでしたが、令和6年度からは「ゆうちょ銀行」での取り扱いになります。

1・2年生の保護者の方で、これまでに、ゆうちょ銀行に口座をお持ちでない方は、今月末までに、引き落とし用の口座を開設してください。すでに、ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は、新たに口座を開設する必要はありません。

全国学力学習状況調査の振り返り

【国語】

本校において今後より力を入れて学習していく必要がある分野は、知識及び技能の言葉の特徴や使い方に関する事項だと思われます。本調査による問いに照らし合わせてみると、文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題にあたります。

近年、ICTを活用しての学習が進んできていて、キーボードでのタイピングによって文章を作成する機会も多くなってきています。そのため、字を書く機会が減っていることも要因のひとつとして考えられます。

これからも、授業中にタブレットで学ぶ時間と紙やノートに筆記用具を用いて自分の手で文字を書く時間をうまく組み合わせて、生徒たちが文字を書く楽しさを実感できるように工夫していく必要があると思います。

また、古文における歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問いへの正答率も全国平均に比べて低い値でした。これは、現代文よりも古文の作品に触れる機会が圧倒的に少ないことも要因であると思われます。授業の中で、折に触れて、古文や漢文から学ぶことのできる先人からの教えを話題にしながら、子どもたちが興味をもてるように指導していきたいと思っています。

一方、正答率の高かったものは、思考力・判断力・表現力の「書くこと」、「読むこと」の区分でした。本校の子どもたちは、話し合い活動等に意欲的に取り組むことができています。そのため、普段の生活の中から、さまざまなことを考えようとする力が身につけていることも、このような結果を得ることができた理由のひとつだと考えられます。

今後は、漢字や言葉の使い方をはじめとする、知識や技能の分野を重点的に指導しつつ、生徒たちの考える力をさらに伸ばしていけるような授業を展開していきたいと思っています。

【数学】

学習指導要領の領域「A 数と式」と「D データの活用」の正答率は「おおむね満足できる」状況であったのに対し、「B 図形」と「C 関数」の正答率は「努力を要する」状況となりました。鶴が台中学校の学習カリキュラムは採用している教科書に従い、4月～7月に「A 数と式」、9月～10月に「C 関数」、11月～1月に「B 図形」、2月～3月に「D データの活用」を主に学習しています。全国学力学習状況調査が4月に実施されたので、直近に学習した「A 数と式」と「D データの活用」の正答率が高く、学習してからの期間があいている「B 図形」と「C 関数」の正答率が低くなった可能性があります。

また、「B 図形」についての理解度を改善するには、図形についての定義や定理を正しく理解して覚えることや、平面や空間内での位置関係や方向、大きさなどといった空間を認知する力を身に付けることが大切だと考えます。「C 関数」についての理解度を改善するには、式や表やグラフで表された数量の変化の様子を正確に捉えることや、文章から表やグラフを作成してそこから式を求める力が必要だと考えます。そして、式と表とグラフの3通りの表現方法を相互に変換できることが大切です。

評価の観点に注目すると、「知識・技能」の正答率は「おおむね満足できる」状況であったのに対し、「思考・判断・表現」の正答率は「努力を要する」状況となりました。「思考・判断・表現」の評価を改善するには、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力などが必要です。

今後の授業においては、各領域の理解や「思考・判断・表現」を伸ばすために必要な力をこれまで以上に意識するよう促しながら、時間をかけて取り組んでいきたいと考えています。

【英語】

学習指導要領の領域（3）の話すところ〔やり取り〕が、全国の平均正答率に対して鶴が台中学校の平均正答率は少し上回っていました。毎回の授業の中で、スモールトークを行っていることがこの結果につながったと思われます。

（4）話すこと〔発表〕については、全国平均に比べて鶴が台中の正答率はやや低い結果となりました。この結果を受けて、授業の中でもスピーチで使われる言い回しや、発表の機会を増やすなど改善していきたいと思えます。

問題別の集計結果では、日付に関する基本的な表現を理解し、その知識をやり取りの場面で活用できる技能に関して全国の正答率に対して鶴が台中学校の正答率は大幅に上回る結果でした。授業の中での会話が、生徒たちの力となっていると考えられます。

これからも、ライティングやリーディングなどの機会をより一層増やしていき、今生徒たちが持っている力をのばし、様々な形で自分の意見や思いを表現できるようにしていきたいと思えます。

また、鶴が台中学校の3年生は、テストの結果から全国的にみても英語での会話に対する抵抗感が低いようにみとることが出来ます。更に、修学旅行では海外旅行者と自ら進んで英会話をしている生徒も多く見られました。その会話力を日常の生活の中でも使える機会が増えてくることを願っています。

【生徒質問紙】

令和5年度全国学力状況調査の生徒質問紙の結果から読み取れる内容として、鶴が台中学校の多くの生徒は基本的な生活習慣が身につけていることが分かります。

自己肯定感はやや低いようですが、将来の夢や目標を持って活動している生徒が多くいることも分かります。

友達関係に悩むこともあるようですが、生活の中で幸せを感じる場面も多くあるようです。

家庭学習の取り組みには2極化が見られ、休みの日などに2時間以上学習する生徒の割合が全国平均を大きく上まわっている一方で、ほとんど勉強をしないと答えている生徒もいます。一方、読書については取り組む機会が少ないようです。

学校の授業時間には、タブレットなどのICT機器を使い、自分の考えを工夫して発表したり、他者との意見交流に積極的に取り組んでいる様子が分かります。


今後は、地域の行事に参加したり、貢献したりする活動を増やして行ってほしいと思えます。

潮音について

茅ヶ崎寒川地区の中学校では、国語の授業で生徒が作った俳句や短歌、詩、作文等を持ちより「潮音」という冊子を作っています。例年、作品を掲載する際に、学校名やお名前を載せております。“作品は掲載してもらいたいけれど、名前は載せたくない”という方は、担任までお申し出ください。

教育委員会からのお知らせ


教育センター

第13回響きあい教育シンポジウム 


子どもの自尊心を考える
～乳幼児期から思春期・青年期の育ち～
2人の講師の御講演&教育長を交えた鼎談


講師 えんどうとしのこ
遠藤利彦 氏(東京大学大学院教授)
北島歩美 氏(日本女子大学カウンセリング
センター専任研究員(教授待遇))

配信期間 9月22日(金)～11月24日(金)
教育センターホームページから動画視聴可 ☎(86)9965




教育センター

令和5年度 茅ヶ崎市教育講演会 

自分の居場所 探しに行こう 

講師 ヨシタケ シンスケ 氏(絵本作家)

開催日等 10月20日(金)から2か月間
茅ヶ崎動画ライブラリー及び教育
センターホームページで視聴可 

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/1005049/index.html>